

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、掲載の各事業やイベント等については、主催者の判断により変更または中止、延期される場合があります。開催の有無等につきましては、各申し込み先にお問い合わせをいただきますようお願いいたします。

うちのイチ押し!

春からはじめる! 新しい習いごと

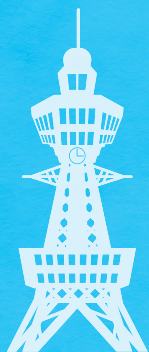
大阪市立生涯学習センターで
春から開催する講座です。
新しいこと、はじめてみませんか?



	教室	日時	対象	定員	費用
総合	1 はじめての中国語	4/21~9/15 水曜 19:00~21:00 全20回	どなたでも	12人	40,000円(教材費別)
	2 はじめてのペーパークイリング	5/14~6/18 金曜 10:00~12:00 全6回	どなたでも	12人	9,000円(教材費別)
	3 パソコン講座「初心者のためのワード」	5/14~7/16 金曜 9:45~12:15 全10回	マウス操作・文字入力ができる人	18人	15,000円(教材費別)
	4 パソコン講座「初心者のためのエクセル」	5/14~7/16 金曜 13:30~16:00 全10回	マウス操作・文字入力ができる人	18人	15,000円(教材費別)
	5 楽しく描く水彩画(春)	4/13~6/29 火曜 10:00~12:00 全10回	どなたでも	23人	15,000円
	6 初めての顔彩で描く日本の花	5/24~9/13 第2・4月曜 10:00~12:00 全8回	どなたでも	18人	16,000円
阿倍野	7 お仕事帰りのナイトヨガ	4/9~7/2 金曜 19:00~20:30 全12回	どなたでも	15人	16,800円
	8 やさしいネイティブEnglish	4/16~6/25 金曜 10:00~12:00 全10回	英語初級レベルの人	15人	14,000円
	9 簿記3級受験対策講座	4/9~6/11 金曜 19:00~21:00 全8回	簿記3級の学習経験者	25人	13,600円(教材費別)
	10 春のパソコン講座 イチから習得! はじめてのパソコン	4/15~6/3 木曜 10:00~12:30 全6回	パソコン操作がはじめての人	20人	9,000円(教材費別)
	11 春のパソコン講座 基礎から学べる初心者のためのワード	4/15~6/3 木曜 14:00~16:30 全6回	マウス操作・キーボード操作ができる人	20人	9,000円(教材費別)
12 春のパソコン講座 関数やグラフがよく分かる! エクセル表作成マスター エクセル応用編 前編	4/14~6/2 水曜 19:00~21:30 全6回	仕事でエクセルを使用している人	20人	9,000円(教材費別)	
難波	13 古地図のススメ	4/17, 5/15 土曜 13:30~15:15 各1回(同内容)	どなたでも	各60人	1,000円
	14 基礎から学ぶウクレレ(昼クラス)	5/21~7/16 金曜 14:00~16:00 全5回	どなたでも(ウクレレ持参)	17人	15,000円
	15 基礎から学ぶウクレレ(夜クラス)	5/21~7/16 金曜 19:00~21:00 全5回	どなたでも(ウクレレ持参)	17人	15,000円
	16 ドイツ語入門講座	4/8~7/29 木曜 19:00~21:00 全15回	かんたんな挨拶程度の会話ができる人	20人	22,500円(教材費別)
	17 なんばOH! 笑いミュージカル講座	4/10~8/29 土曜(最終回のみ日曜) 10:00~12:00 全11回	小学生以上(マスク着用可能な人)	25人	17,000円

場所・申込み・
問い合わせ先

総合生涯学習センター 06-6345-5004 大阪駅前第2ビル5階(Osaka Metro各線「梅田」、阪急・阪神「大阪梅田」、JR「北新地」「大阪」)
阿倍野市民学習センター 06-6634-7951 あべのペルタ3階(Osaka Metro「阿倍野」「天王寺」、JR「天王寺」、近鉄「大阪阿部野橋」)
難波市民学習センター 06-6643-7010 OCATビル4階(Osaka Metro・JR・近鉄・阪神・南海「なんば」)



おおさか

歴史探訪

154

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

せんぶかん 泉布観150年

北区天満橋、大川に面してたずむ重要文化財建造物の泉布観は、明治4(1871)年に造幣局の応接所として造られ、今年でちょうど150年になります。

この場所に造幣局を造ろうと働きかけたのは「大阪の恩人」五代友厚。工事の陣頭指揮を執ったのが幕末にヨーロッパに密留学した長州五傑の一人・井上馨。そして設計を手がけたのはアイルランド出身のお雇い外国人、トーマス・ウォートルスでした。工事の最中には、「幕末の三剣豪」といわれた斎藤弥九郎翁もなぜか権判事という官職で勤務していました。

そして明治5(1872)年には明治天皇が西郷隆盛を伴って訪れ、「泉布観」と命名。同10(1877)年に再度来訪したときには、1階南室の食堂で、木戸孝允・山縣有朋・伊藤博文らと会食しました。その時に腕を振ったのが日本人最初のシェフと呼ばれた自由亭ホテルの草野丈吉でした。同31(1898)年の行幸では2階北東室の内装改修が行われ、川島織物の二代目川島甚兵衛と日本の洋家具の父といわれる杉田幸五郎がたずさわりました。

明治21(1888)年、明治5(1872)年に来日して以来16年間、造幣局の化学技師として務め、日本の古墳研究の上でも大きな足跡を残したウィルヘルム・ガウランドの送別会が行われたのもここ泉布観でした。明治26~28(1893~95)年には、陸軍第四師団長として赴任した北白川宮能久親王が公館として利用しました。そして、明治12(1879)年にドイツ皇太子ハインリッヒ殿下、同14(1881)年にハワイ国王カラカウア陛下などといった国賓が利用し、泉布観は「大阪迎賓館」として重要な役割を果たし、日本の近代化を見守ってきました。

完成後150年目を迎え、ここを訪れた数多くの著名人からもきっと祝福を受けていることでしょう。大川沿いの桜咲く季節、静かに歴史を振り返りつつ散策に訪れてください。



完成150年を迎えた泉布観
(北区天満橋1-1-1) ※内部は非公開